

統計に見る福島県の教育

社会教育の現状と推移

図1 専任社会教育主事数(主事補・派遣社会教育主事含む)

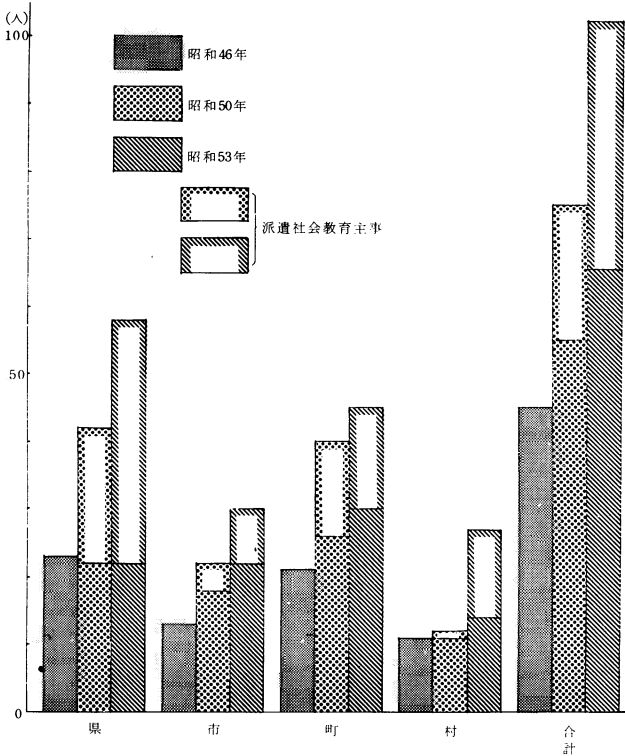
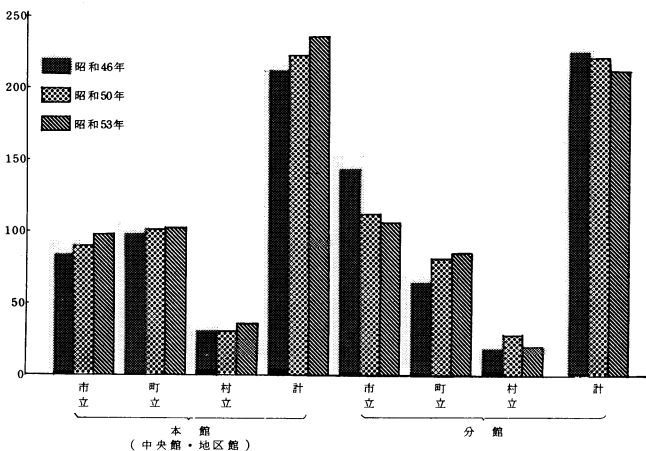


図2 公民館数



はじめに

社会教育調査は、約三年に一回実施され、本年がその年にあたっている。最近では、昭和四十六年、五十年に行われている。そこで、これらの調査結果をもとに、本県の社会教育の現状と推移をみることにする。

社会教育主事の数

社会教育主事の数、図1のとおり調査ごとに増加している。社会教育主事補、派遣社会教育主事を加えたもの

の合計でみると、四十六年が六十八名だったのに対し、五十年には九十七名となり、本年は百二十四名で、七年間で一・八倍となっている。また、村では、派遣社会教育主事の比率が、市・町に比べて高くなっている。

なお、派遣社会教育主事は、県と市町村にそれぞれ重複計上されているので、県と市町村の合計は同数となる。

表1 教育委員会で実施した学級・講座への参加者数 (昭和52年度) (単位:人)

区分	性別	青少年のみを対象とするもの			成人を対象とするもの		
		少年を対象とするもの	青年を対象とするもの	青年学級(再掲)	成人一般を対象とするもの	婦人のみを対象とするもの	高齢者を中心とするもの(再掲)
市	男	178			28		83
	女	135			198	891	89
	計	313			226	891	172
町	男	762	398	285	904		694
	女	506	306	86	2,577	1,479	674
	計	1,268	704	371	3,481	1,479	1,368
村	男	188	112	10	392		556
	女	217	48	15	868	1,201	686
	計	405	160	25	1,260	1,201	1,242
小計	男	1,128	510	295	1,324		1,333
	女	858	354	101	3,643	3,571	1,449
	計	1,986	864	396	4,967	3,571	2,782
県	男				155		
	女				148		
	計				303		
合計	男	1,128	510	295	1,479		1,333
	女	858	354	101	3,791	3,571	1,449
	計	1,986	864	396	5,270	3,571	2,782